

令和6年度 第1回 大牟田市協働のまちづくり推進委員会（摘録）

開催日時 令和6年11月21日(木) 16時30分～18時15分
 開催場所 市役所本庁舎 302 会議室
 出席者 委員 10名、行政 13名
 欠席者 委員 1名
 傍聴者 報道関係 1名、一般傍聴 0名

次 第

1. 開会
2. 辞令交付
3. 副市長挨拶
4. 自己紹介
5. 委員長、副委員長選任
6. 議 事

(1) 市民と行政との協働事業及び市民参加の実施状況について

① 市民と行政との協働事業について

事 務 局	(別紙資料により説明)
(質 疑)	
委 員	資料11ページ「協働の相手方数」で、市民活動団体が昨年に比べて6件少なくなって、次の12ページの予算額も4億5千万から4億1千万と下がっているが、コロナの影響もあるということか。
事 務 局	コロナにより中止した事業自体は、一昨年度とあまり変わらないが、各課報告の積み上げとなるので、一昨年度終了して昨年度実施しなかった事業などで減少している。
委 員	8ページ「部局別の協働事業数」で、企業局と教育委員会と会計・事務局は、3年間ともゼロとなっている。業務の特性上、やむを得ない面もあるのかも知れないが、何かしら協働事業実施の呼びかけはやっておられるのか。
事 務 局	協働事業の呼びかけについては、条例の周知と併せ各部局にお知らせをしているところ。業務の特性上難しい部局もあるかも知れないが、ご意見は担当部局にもお伝えする。
委 員	今の件だが、市民活動団体が作成するチラシ等に教育委員会の「後援」が入っているのをよく見る。それも協働のひとつ。カウントしていった方がいいのでは。
委 員	毎年同じ話が出ていて、多分私の記憶では3回目。入れた方が良くという声のかけ方をしないと。調査の際に伝え方を工夫された方が良くはないか。
委 員	実際、まちづくり協議会と教育委員会が話したり一緒にしたりすることは多々ある。そういうものはカウントできるのでは。 人権フェスティバルなど、人権関連のイベントはほとんど教育委員会。周知等を依頼してくるわけだから、協働だと思う。0件というのはやはりおかしい。
事 務 局	人権・同和・男女共同参画課という課があるが、そこが市長部局と教育委員会を兼務している状況なので、人権フェスティバルなどはそちらで出ていると思われる。
事 務 局	次回、調査を依頼する際には配慮したい。

②市民参加の状況について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員	審議会等委員における女性委員の割合で、女性委員の比率が40%以上とあるが、もっと上の段階を目指すなどあるのか？
事務局	40%は国の定めている基準(男女共同参画基本法に基づく、男女共同参画基本計画)で、本市は国の基準通りとしている。40%を超えればその後の検討もあるかも知れない。
委員	第5条(委員の任命)2項の(3)「幅広い年齢層から任命すること」とあるが、目標値や何らかのデータがあるか。
事務局	審議会等委員任命計画書の様式には、年齢構成を記載する欄があるが、目標値やお示できる資料はございません。
委員	男女比もそうだが、年齢層が偏っているなどあるのであれば、改善の余地はあると思う。
委員	参考資料の「市民参加実施状況実績」だが、アンケート調査はどのようなものが含まれるのか？例えばこの前観光おもてなし課所管で実施された大蛇山に関するアンケートなどは載っていないのか？
事務局	調査の対象が、条例第10条に記載されている項目となるが、この内容に当たらないと判断されて入ってきていない。
委員	市民参加が行われているかを計るうえで、絞りすぎると拾えず、実態より少なく見てしまうのでは。観光政策や伝統行事をどうするかという意味では、市政に関わることと捉えられないこともない。もう少し広くとらえて調査してもよいのではないか。
委員	確かに、すごく大きいし重いものが対象になっている。 逆に広げ過ぎて取れないと困るところも、当初定めた時にあったのかも知れない。
事務局	まずは条例に規定しているものから調査を行っている。 ただ、委員の言われるように、そこ以外の部分についても、何らか拾えることができればというご意見は承っておきたい。

(2)校区まちづくり協議会の設立状況について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員	増加要因と減少要因も記載がある。高取の8%が最も増加率が高いが、三池は-14%。これはやはり高齢化が大きいのか。
委員	三池校区は山手というか、中心部からちょっと離れたところにあり、過疎化している。少子高齢化は全国的な問題なので言い訳にならないが、やはりある程度の年代になってくると「皆さんに迷惑かけるから」と引かれる方が多い。 また、脱会するときは隣組全体でごそと抜ける。このため、公民館やまち協の加入にしても、歯が抜けたような状況で、回覧板が届かないようなところが結構ある。
委員	その隣の高取校区は、山手だが増えている。

事務局	高取校区は令和5年にまちづくり協議会が設立され、設立以降に公民館等の団体が2団体増えている。このため8%という単位で増加している。
委員	そういう中で、加入率が60%を超えられているところは、頑張っている。
委員	そういうところは結束が強い。例えば上内小学校は、大牟田市内のどこからでも生徒を受け入れるという、画期的な仕組みを取り入れてある。
委員	冒頭に事務局がされた「校区まちづくり協議会とはこういうものだ」という説明は、毎回した方がいい。校区まち協に対して批判的な方も、まち協はこういうものだという認識をすることで、現在の加入率が増加に向かうのでは。 毎回説明されているのだろうが、新しく委員になられた方のためにも、資料にも文章として入っていた方が分かりやすい。
委員	基本的なことだが、大牟田市の人口は確か10万5千を切っていたかと思う。それぞれの特色があるので、よその自治体と比べるのもどうかというのはあるが、例えば小学校数がものすごく多い。人口規模の似た大野城、筑紫野、糸島あたりと比べても多く、大野城市は10校しかない。 将来的に人口も減っていく中、大牟田市は小規模多機能自治推進ネットワーク会議に入ってるしやるので、そういった方向に行くと思うが、19校区が例えば10とか、適正な数になっていかないと難しいのではないかな。
委員	実際、合併の話は進んでいける。 将来的には、人口は7~8万ぐらいになることが分かっているわけだから、その環境の下でやっていく以外はないと思っている。それに対して止めようとか、大げさなことはいらない。 民生委員は昭和20年前後位の生まれの人が一番多い。だから来年は大量に辞められるだろうということが考えられる。まち協も19が8とか6とかなる可能性もある。それを取っ払ってしまっただ牟田全体で区割りするとかブロック制にするとか。市役所だって職員が500人とかそういう体制になるわけだから、それでやるしかない。
委員	大正小学校PTAでは、将来中友小学校と合併するという話は分かっている事実なので、PTA同士でも一緒に活動する機会を増やして行って、合併したときに困らないようにしようという話になっている。 中友校区まち協ができたばかりだが、今後大正と合併することが分かっているので、自分たちができることを、今から未来に目を向けてやっていくってということが大切かと思う。

(3) 令和6年度地域活動インターンシップ研修制度について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員	うちはA校区だが、今年のインターンシップは女性3人だった。 事業に参加していただき、一生懸命やっていただいた。
委員	令和5年度から30人を超えているというのは、校区まち協の方でも受け入れを希望されているところが増えているということか。
事務局	人数が増えた要因は、コロナの時期に研修できなかった職員が入っていることが一番大きい。

(4)市民活動の状況について

事務局	(別紙資料により説明)
-----	-------------

(質 疑)

委員	<p>今年度を見ていると、コロナ以前にだいぶ活動が近づいてきた。登録団体自体はそれほど変わらないが。</p> <p>あとはやはり、企業CSRなどを活性化できるような、市民活動サポートセンターになればいいかなと思う。特にソーシャルビジネスをやってる団体など。生活の方が大事で、市民活動まで余裕がないような団体、或いは企業のCSR活動が減少しているところがあれば、コロナ前の段階まで上げた方が良いのではと思う。</p>
委員	<p>そんなに変化はないと言われたが、社協ボランティアセンター登録団体が6団体増えている。これは何か具体的な要因があるのか。</p>
委員	<p>コロナで減少したというのが戻ったというような状況だろうと思う。大きな災害があったりすると、ボランティア団体の登録が増える傾向があるので、能登半島等の大きな災害を目の当たりにして、活動が促されたのではないかと思う。社協としての分析ではないが。</p>
委員	<p>子ども食堂が広がってるから、その関係もあるかと思ったが。その辺りはいかがか。</p>
委員	<p>コロナ禍を通過してきたので、やはりそこ比べてしまうが、子どもの居場所は増えていると思う。よその自治体の方は、子どもの居場所が多いことにびっくりされる。</p> <p>子どもの居場所が20ヶ所ぐらい。しかも20年続いているところが6ヶ所ぐらいあって、そこも結構高齢化してきてあるが、すごく恵まれている。</p> <p>校区まち協と一緒に人が少なくなっているところもある。同じ人が違う2団体に所属していたりするので、団体同士でコラボしてやろうかという動きも出始めている。新しいところも増えている。</p>
委員	<p>民生委員の状況は？民生委員の担い手は何歳以上とかはあるのか。</p>
委員	<p>特にはないが、やはり経験からいって20歳ぐらいとかでは難しい。</p>
委員	<p>子ども食堂の話でもあったが、意外に50代・60代もあるのではないかと思った。関わってる方どうですか。</p>
委員	<p>A子ども食堂に関して言えば私が一番上で、40代が運営メンバーでは多い。他の子ども食堂もされている70代の方が手伝いに来てくださったりしている。</p>
委員	<p>主任児童委員さんは若い方が多い。定年も60位。</p>
委員	<p>B校区は「マダム」と言われる世代の皆さんが頑張っている。</p> <p>PTAでも、校区の子どもを見てもらうというところで協力させてもらうが、調理場には一切立ち入れない雰囲気、私たちは配膳をやっている。</p>
委員	<p>どういう子ども食堂を目指しているかによる。「もう少し開かれた方がいい」と思われるところだと「あの人たちだけでやっている」となる。難しいところ。</p>
委員	<p>地域により色々ですね。ボランティア意識が高い方を見つけ、民生委員にスカウトするということがあってもいいのかなと思ったもので。</p>
委員	<p>例えば小学校高学年の子どもたちに料理の仕方を教えるのが目的とか、子ども食堂によっていろんな目的がある。お父さんお母さんがいないときに、ご飯ぐらい自分でできるようにしようみたいなところもあるでしょう。</p>

委 員	<p>A子ども食堂はご飯の作り方も教えているし、子どもたちにもケーキづくりやデコレーションなど主体的にしてもらっている。卵を割るだけとか、できることは率先して頑張れとか、それぞれキャラクターの違いに合わせて行っている。</p> <p>大牟田市の子ども食堂は、どちらかというと地域を限定しているところが多い。A子ども食堂はそれをしたくなくて、地域を決めていない。C校区の人が多いが、柳川からも来られている。</p>
--------	--

(5)「大牟田市地域コミュニティアドバイザー会議(仮)」について

事 務 局	(別紙資料により説明)
-------	-------------

(質 疑)

委 員	これは必要性に応じての会議だと思うが、会議の回数はどうなるのか。
事 務 局	部会長とも相談して、と思っているが、年3回は開催が必要かと考えている。
委 員	他に質問などありますか。
	(特になし)
事 務 局	名称について、よろしければご意見をいただきたい。
委 員	「アドバイザー」とはどういう意図か。よく聞く言葉なんですけど、上からの感じがする。仰々しいというか。
委 員	短い方が良い。
委 員	ある程度取ってしまったって、地域コミュニティ会議、地域コミュニティ提言会議など。これはいつまでに言えば良いですか。
事 務 局	第1回目の会議で提案をさせていただきたい。

その他

	(特になし)
--	--------

7. 閉会 (18:15)